

第11回歴史文化探訪セミナー 実績

平成24年度船来山秋の赤彩古墳の館特別開館の関連企画として、12月15日（土）に本巢市富有柿センターで開催しました。58名の参加があり、大変盛況でした。

今回第11回目を迎えるセミナーでは、講師に田中弘志氏（関市教育委員会課長補佐）をお招きし、「船木山弥勒寺と弥勒寺官衙遺跡群」という講話をいただきました。



▲セミナーの様子



田中先生は、関市の国指定史跡「弥勒寺官衙遺跡群」の解説から、本巢の弥勒寺と関市の弥勒寺との関連性などについて解説されました。両寺の地形や遺跡の環境が似ていると指摘され、本巢でも役所や水辺の祭祀跡などが発見される可能性を示唆されました。「船来山は古代ロマンを秘めた場所。これからも大切に守ってほしい」とのお話がありました。



▲目を輝かせて熱心に聴く参加者

講演後は企画展「船木山弥勒寺の文化財」と同寺を見学しました。

清水幸信住職が寺に伝わる蓑虫山人作の明治初期の弥勒寺の絵や、寺の裏山にある古墳について解説されました。

参加者は、「船来山は、宝箱のよう。まだまだびっくりするような、すごい歴史が詰まっている。」と目を輝かせていました。

